

細菌センサーヒスチジンキナーゼ(HK)は病原菌の病原性や増殖等に関与する遺伝子発現を制御する。新規抗菌薬waldiomycin(WD)は、広範なHKを阻害することによって、抗菌性(MRSA等)を示す。その結合部位は、リン酸化His残基を含むHKの保存性領域Hboxである。本研究では、Hboxを標的としたHK阻害剤をWDをもとに有機合成し、多剤耐性細菌に有効な次世代型抗菌薬の候補化合物を創生することに成功した。